

食と農 新時代築く

第57回 県優良青年農業者表彰

【後援】群馬県議会、群馬県市長会、群馬県町村会、(一社)群馬県農業会議、(公財)群馬県農業公社、群馬県農業協同組合中央会、農林中央金庫前橋支店、全国農業協同組合連合会群馬県本部、全国共済農業協同組合連合会群馬県本部、群馬県厚生農業協同組合連合会、群馬県牛乳販売農業協同組合連合会、群馬県農業共済組合

今年で第57回を迎える「群馬県優良青年農業者表彰」は、農業の発展と後継者育成促進のため、1965(昭和40)年から県と上毛新聞社の共催で行っている。農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、各農家は先進的な経営に取り組みながら、自然環境にも配慮して増産と品質向上を図っている。表彰を受ける13組は野菜、果樹、酪農、コンニャクなど各分野において創意工夫し、地域の農業者の模範となっている。各受賞者に農業への思いや今後の抱負を聞いた(敬称略)。

新型コロナウイルス感染症の状況を受けて、昨年に引き続き、今年の表彰式典も中止した。

甘楽町(野菜) 高野 一馬



参加していた青年海外協力隊の農業研修先が甘楽町であったことです。そこで、町の景色と地域の方々の人柄に触れ魅力を感じ、この地での就農を決意しました。就農後は、地域の方々に助言をもらいながら、ナスや長ネギなどの生産に取り組んでいます。将来は法人

ナス・長ネギで法人へ

宮城県出身ですが、平成21年に甘楽町に定住しました。きっかけは、定住前

前橋市(野菜) 下田 将文



の生産技術向上に努めています。地域の団体活動にも積極的に参加し、若手代表者として農業委員を任せていただくなど、頼まれた役は引き受けるよう心がけてきました。今後も地域活動で得た仲間と共に、安心安全な農作物の生産に取り組む、消費者の方から「群馬

若手代表者として精進

ナス、ブロッコリーなどの野菜は安心して美味しいの露地野菜を中心に、食の安全を目指し、周年出荷で精進したいと思っています。

高崎市(野菜) 森 清和・有理



菜それぞれの個性を引き立たせ、旬の野菜のおいしさを消費者へ届けることで、直接消費者との結びつけを深め、顔の見える販売ルートを開拓していきたいです。私は山間地農業の新たな価値を創出するため、日本ではまだ市場が確立していない「食用ほおずき」を地

食用ほおずきに挑む

「記憶に残る野菜」を地域産業に育て上げ、新たな念に掲げ、野菜の魅力や可能性を追求しています。野菜に役立てていきたいです。

高山村(野菜) 平形 清人・佐和美



農業を営んでくることができました。今後は、就農当初から栽培している伝統野菜の高山きゅうりやピーマンなどの他、耕作放棄地など地域課題の解決の一助となるような経営面積の増加も検討しています。「おいしいやさしい(こ)ちよい」心も体も喜ぶ野菜づくりを軸

有機農業で伝統野菜

10年前に夫婦で有機農家として就農しました。多くの方々に支えていただき、きたいと思っています。

太田市(野菜) 石原 智也・梨紗



え、働きやすい環境作りを心がけています。今年には栽培管理を大幅に軽減できるという単為結果性ナスを導入しました。作業性の改善が図れば従業員が働きやすくなり、雇用もやすくなるという規模拡大も出るのではないかと考えています。そのため、新技術や品種、労務

単為結果性ナスを導入

ハウスで春はナス、秋はキュウリを栽培していますが、これからの時代を見据

吉岡町(野菜) 栗田 和巳・友香



す。この間数多くの青年農業者や農業関係者、農業以外の業種の方とも出会うことができました。人のつながりがなければ、農業経営はとても困難であったと感じます。これまでご支援とご指導を頂いた方々、関係者の全てに感謝し、今後も安全で美味しいトマト裁

トマトで食卓に笑顔

平成18年より家業のトマト栽培に従事し、経営継承を経て現在に至っております。

藤岡市(野菜) 野辺 一樹



ようにいかなこともありません。先輩農家からのアドバイスや同年代の仲間との交流の中で、技術、知識を学びました。何をやるにも経験が一番大切だと考え、最初から人に聞くのではなく、まず自分で考え、挑戦してみようと考えています。父、母、パートナーの方

笑顔で楽しく仕事する

専業農家だった祖父の影響で、農林大学卒業後、就農しました。当初は思うことを心掛けています。

長野原町(酪農) 萩原 一禎・奈津美



良に力を入れ、共進会や体罰審査に積極的に参加しています。飼養管理を向上させ、長命産産に向け、安心安全な生乳生産を心がけています。また、和牛舎を新築し、受精卵移植による和牛子牛の生産性向上や安定した受精卵の生産を目指します。今後も自給飼料

北軽井沢で生乳生産

私は北軽井沢地区で酪農経営を行っています。同年代の酪農家とともに牛群改良していきたいです。

桐生市(果樹) 津久井 敏男・真利江



なブドウを販売するため、雇用管理も含めた農業経営を意識しています。毎年収穫後には家族で反省点を話し合い、次年度に向けた課題や目標を立てて営農しています。ホームページの開設や桐生市ふるさと納税返礼品事業者となるなど、消費者へ積極的にPRを行っ

ブドウを消費者にPR

令和元年に経営移譲を受けています。将来的には法人化を図り、より良い営農を

伊勢崎市(米麦・野菜) 阿久津 慎・亜衣



栽培できません。そんな中でも契約先から信頼をもらえようとして、技術を磨いて高品質の野菜を安定出荷していきたいと考えています。自分が作った農作物を必要とってくれる人がいるのは、とてもありがたいことです。これからも買ってくれた人に喜んで

気象変動にも管理対応

近年は気象の変動が激しく、その年の気象に合わせて管理をしなければ上手く

甘楽町(野菜) 高野 一馬



参加していた青年海外協力隊の農業研修先が甘楽町であったことです。そこで、町の景色と地域の方々の人柄に触れ魅力を感じ、この地での就農を決意しました。就農後は、地域の方々に助言をもらいながら、ナスや長ネギなどの生産に取り組んでいます。将来は法人

ナス・長ネギで法人へ

宮城県出身ですが、平成21年に甘楽町に定住しました。きっかけは、定住前

沼田市(コンニャク) 山田 繁・瑞穂



興と、持続可能な農業の発展を意識して経営を行っています。人・田畑・設備を整え、先人の技術を継承しながら、自らも研究に励みたいと思っています。そして、その成果を後継者に託せる農業者になりたいと考えています。気象変動が大きくなり、影響は厳しさを増していま

コンニャク栽培を継承

安心安全で品質の良い作物を栽培するという基本姿勢を重視し、地域の農業振

館林市(米麦・野菜) 半田 健二・亜矢



率を向上していきたいです。栽培面では、新技術を積極的に活用し栽培技術を向上させ、より良い品質の作物が安定的に生産できるように心掛けています。販売面では、市場の動向を常にチェックし、市場での有利販売を可能とする品目選定を行っています。誰か

「売れる野菜」で先手

経営面に関しては、面積も先に「売れる野菜」を規模拡大を図るために農地

みなかみ町(コンニャク) 大川 真史・舞



作業効率化、低コスト化につなげたいと思います。私は今年40歳になりましたが、わが社のメインスタッフは更に若く、25、40歳がほとんどを占めています。特に若い従業員の育成に努めたいと思っています。時には若い年代で和氣調々とするのも必要

若い仲間と面積拡大

年々、面積拡大を行って、と考へ、職場の雰囲気があるので、今後は、従業員